

令和3年度 事業報告

令和3年度の畜産を巡る情勢は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、インバウンド需要消失や外食需要の減退により令和2年は一時期牛枝肉価格が大幅に低下したものの、令和3年は経済活動の再開、巣ごもり需要の増加により持ち直し基調で推移しました。子牛価格についても、新型コロナウイルス感染症の影響による枝肉価格の低下に伴い一時的な低下はあったものの、回復してきています。

一方、酪農情勢としては、学校の休校や緊急事態宣言、まん延防止等措置以降、生乳の需要が減少したことから、バター・脱脂粉乳などの乳加工製品へ仕向けなどの対策が講じられましたが、冬季の生乳消費量が大きく減少するなか消費量に対して生産量が大きく増加したため在庫量が増加するなど、厳しい対応を迫られました。

豚肉、鶏肉や鶏卵は、「巣ごもり需要」が旺盛となり、量販店での販売が好調なこと等から、価格は堅調に推移しました。

一方で配合飼料や燃油等の著しい高騰による生産経費の増加で、今後の経営への影響が懸念されます。

家畜の感染症は豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病の発生により、農林水産業は大きな被害を受けました。特に、平成30年9月、岐阜県に発生した豚熱は、これまでに16県で確認されており、野生イノシシでの感染も直近では山口県岩国市で確認されなど、確実に陽性エリアが拡大傾向にあります。また、高病原性鳥インフルエンザは、令和2年度に比べると発生戸数は少ないものの本年5月エミュで発生が確認されるなど、今後、野生動物の感染に対する対策の強化と、農場における飼養衛生管理の徹底による防疫体制の更なる引き締めが必要となっています。

このような状況の中で、畜産は本県の農業産出額の3割強を占める重要な品目であることから、当協会は県、市町村、農協等関係機関や団体の協力をいただきながら生産者の経営支援対策、価格安定対策、家畜衛生対策に積極的に取り組んでまいりました。

経営支援対策では、畜産農家の経営や飼養管理技術の改善等を図るため、畜産コンサルタント委託事業や畜産特別資金等推進事業など県振興局等関係機関と連携を図りながら指導の強化に努めるとともに、畜産クラスター関連事業をはじめ肉用牛経営安定対策補完事業などに取り組み、経営規模の拡大や生産効率化・省力化による生産者の収益性の向上を努めました。

価格安定対策では、肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金

制度や肉豚経営安定交付金制度等を実施する中で、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減退するなか、品種によっては一時的に価格の低下による補てんはあったものの概ね良好に推移しました。

家畜衛生対策では、豚熱、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病に対する予防・啓発活動に取り組むとともに、ワクチン接種等による家畜の損耗防止を推進し、畜産経営の安定を図ってきました。飼養衛生管理基準の遵守など関係機関や獣医師と連携し自衛防疫の推進を図り、特に、飼養管理の向上を目指す生産者に対しては、地域農場HACCP認証支援事業により、制度の普及並びに認証取得に向けた支援をしてまいりました。

当協会の運営は、低金利による資金運用益の減少や価格安定対策業務の法制化により事業執行の変更に伴う事務手数料等の減少で厳しい状況にありますが、新型コロナウイルス関連の新規事業に積極的に取り組み運営費を確保するとともに、経費の削減により効率的な運営を行い、公益法人としての目的を達成するために、役職員一丸となって取り組んでまいりました。

本協会の運営状況

1. 役員会の開催

区分	開催月日	主要議決事項	出席人員	備考
監事会	令和3年5月24日	令和2年度事業及び収支決算の監査	監事3名	
理事会	令和3年5月28日	(1)令和2年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について (監査報告) (2)役員改選(案)について (3)肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正について (4)令和3年度第1回通常総会の開催並びに提出議案の承認について	理事12名 監事3名	
理事会	令和3年6月18日	(1)会長の選定について (2)専務理事の選定について (3)肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正について	理事10名 監事3名	
監事会	令和3年11月22日	令和3年度上半期監査	監事3名	
理事会	令和4年2月15日	(1)令和3年度補正予算(案)の承認について (2)令和4年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について (3)令和4年度役員報酬の承認について (4)肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る積立金管理者の指定申請について (5)肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正について (6)肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る事務委託先の承認について (7)肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る手数料の徴収について (8)令和4年度予防接種事業標準対価について (9)令和4年度事業計画及び収支予算(案)の承認について (10)資産等の預入先及び運用取引先の承認について (11)借入金最高限度額及び借入先金融機関等の承認について (12)諸規程の一部改正について (13)令和3年度第2回通常総会の開催並びに提出議案の承認について (14)その他	理事10名 監事2名	

2. 通常総会の開催

第1回

開催月日・開催場所	令和3年6月18日・大分県農協 本店 大会議室		
総会日現在会員数（A）	46会員		
出席会員数	実出席会員数（B）	17会員（出席率B/A 36.9%）	
	書面による出席会員数	29会員	
	計（C）	46会員（出席率C/A 100%）	

主要議案及び議決事項

- (1) 令和2年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について（監査報告）
- (2) 役員の変更について

第2回

開催月日・開催場所	令和4年3月14日・全農大分県本部別館301会議室		
総会日現在会員数（A）	46会員		
出席会員数	実出席会員数（B）	17会員（出席率B/A 36.9%）	
	書面による出席会員数	29会員	
	計（C）	46会員（出席率C/A 100%）	

主要議案及び議決事項

- (1) 令和3年度補正予算（案）の承認について
- (2) 令和4年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について
- (3) 令和4年度役員報酬の承認について
- (4) 令和4年度事業計画及び収支予算（案）の承認について
- (5) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について
- (6) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関等の承認について

3. 会員の状況

異動 資格別	前年度末 現在	本年度		本年度末 現在	備考
		増	減		
正会員	48	0	2	46	農協合併による減少
賛助会員	1	0	0	1	
計	49	0	2	47	

4. 役員の状況

異動 区別	前年度末 現在	本年度		本年度末 現在	備考
		辞任	就任		
常勤理事	1	1	1	1	
非常勤理事	13	3	2	12	
非常勤監事	3	0	0	3	
計	17	4	3	16	

5. 従業員の状況

異 動 区 別	前 年 度 末 現 在			本 年 度 末 現 在			増 減		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職 員	4	2	6	5	3	8	1	1	2
職員(出向)	2	0	2	2	0	2	0	0	0
嘱託(常勤)	3	1	4	3	0	3	0	▲1	▲1
パート職員	0	4	4	0	4	4	0	0	0
計	9	7	16	10	7	17	1	0	1

6. 令和3年度主要行事等

月 日	内 容	場 所
4月 5日	全国和牛能力共進会 候補牛選抜臨時市場	豊後大野市
4月15日	第1回中央打合会 (WEB開催)	大 分 市
4月21日	会計検査受験	大 分 市
4月28日	第1回大分県農業総合戦略会議	大 分 市
5月24日	令和2年度決算監査	大 分 市
5月28日	第1回理事会	大 分 市
6月16日	全国肉用牛振興基金協会定時総会 (WEB開催)	大 分 市
6月17日	中央畜産会定時総会 (WEB開催)	大 分 市
6月18日	第1回通常総会	大 分 市
6月18日	第2回理事会	大 分 市
8月 6日	畜産特別資金西日本ブロック会議 (WEB開催)	大 分 市
8月31日	第2回大分県農業総合戦略会議	大 分 市
9月 2日	国政・県政予算要望	大 分 市
9月27日	大分県畜産デジタル推進協議会設立総会	大 分 市
10月 2日	第82回大分県畜産共進会 (肉牛の部)	豊後大野市
10月16日 ～17日	大分県農林水産祭	別 府 市
10月26日	第3回大分県農業総合戦略会議	大 分 市
11月 9日	九州ブロック専務・事務局長会議 (WEB)	大 分 市
11月22日	令和3年度上半期監査	大 分 市
11月26日	全国畜産経営優良事例発表会	東 京 都
1月28日	地方競馬全国協会監査	大 分 市
2月 4日	第2回中央打合会 (WEB開催)	大 分 市
2月15日	第3回理事会	大 分 市
3月14日	第2回通常総会	大 分 市
3月23日	第4回大分県農業総合戦略会議	大 分 市

7. 会員の状況

寄託金及び会費一覧表

(令和4年3月31日現在)

(単位:口、千円)

会 員 名	価 格 安 定				家 畜 衛 生		経 営 支 援	合 計
	子 牛		肉 豚		口 数	金 額	会 員 会 費	
	口 数	金 額	口 数	金 額				
【正会員】								
1 大 分 県	10,000	100,000	0	0	2,500	25,000		125,000
2 大分県農業協同組合中央会	1	10	0	0	0	0	111	121
3 大分県信用農業協同組合連合会	766	7,660	200	2,000	0	0	346	10,006
4 全国農業協同組合連合会 大分県本部	2,626	26,260	751	7,510	520	5,200	1,455	40,425
5 全国共済農業協同組合連合会	383	3,830	150	1,500	0	0	60	5,390
6 大分県酪農業協同組合	500	5,000	0	0	300	3,000	778	8,778
7 大分県農業信用基金協会	0	0	0	0	0	0	110	110
8 株式会社 大分県畜産公社	0	0	10	100	0	0	130	230
9 (一社)大分県配合飼料価格安定基金協会	10	100	51	510	0	0	60	670
10 (公社)大分県獣医師会	0	0	0	0	60	600	60	660
11 大分県農業共済組合	0	0	0	0	10	100	200	300
12 姫 島 村	2	20	0	0	0	0		20
13 日 出 町	13	130	0	0	0	0		130
14 玖 珠 町	171	1,710	0	0	0	0		1,710
15 九 重 町	152	1,520	0	0	0	0		1,520
16 国 東 市	36	360	0	0	0	0		360
17 豊後高田市	11	110	0	0	0	0		110
18 杵 築 市	71	710	0	0	0	0		710
19 別 府 市	16	160	0	0	0	0		160
20 大 分 市	48	480	0	0	0	0		480
21 由 布 市	148	1,480	0	0	0	0		1,480
22 臼 杵 市	24	240	0	0	0	0		240
23 津 久 見 市	2	20	0	0	0	0		20
24 佐 伯 市	39	390	0	0	0	0		390
25 豊後大野市	303	3,030	0	0	0	0		3,030
26 竹 田 市	327	3,270	0	0	0	0		3,270
27 日 田 市	58	580	0	0	0	0		580
28 中 津 市	35	350	0	0	0	0		350
29 宇 佐 市	102	1,020	0	0	0	0		1,020
30 大 分 県 農 業 協 同 組 合	5,125	51,250	414	4,140	0	0	2,646	58,036
31 べっぶ日出 "	79	790	2	20	0	0	102	912
32 下 郷 "	11	110	0	0	0	0	72	182
33 (公社)全国和牛登録協会 大分県支部	0	0	0	0	0	0	60	60
34 大分県養豚協会	0	0	0	0	0	0	60	60
35 大分県養鶏協会	0	0	0	0	0	0	60	60
36 県中央豚鶏疾病対策協議会	0	0	0	0	317	3,170		3,170
37 県南地域豚病対策協議会	0	0	0	0	397	3,970		3,970
38 県西地区 "	0	0	0	0	105	1,050		1,050
39 県北 "	0	0	0	0	347	3,470		3,470
40 県南地域鶏病対策協議会	0	0	0	0	70	700		700
41 県西地区 "	0	0	0	0	106	1,060		1,060
42 県北 "	0	0	0	0	291	2,910		2,910
43 県中央牛疾病対策協議会	0	0	0	0	12	120		120
44 県南 "	0	0	0	0	55	550		550
45 県西 "	0	0	0	0	37	370		370
46 県北 "	0	0	0	0	10	100		100
【賛助会員】								
1 シェイエイ北九州くみあい飼料株式会社	0	0	50	500	0	0	500	1,000
総 合 計	21,059	210,590	1,628	16,280	5,137	51,370	6,810	285,050

正 会 員 46
 賛 助 会 員 1

8. 業務実施事項

(1) 業務運営基金（令和4年3月31日現在）

（単位：千円）

摘 要	会員数	価格安定課		家畜衛生課	計
		子牛	肉豚		
寄託金					
正会員	46	210,590	15,780	51,370	277,740
賛助会員	1	0	500	0	500
計	47	210,590	16,280	51,370	278,240
補助金					
全国肉用牛振興基金協会	—	12,000	—	—	12,000
計	—	12,000	—	—	12,000
合計		222,590	16,280	51,370	290,240

(経営支援課)

1. 畜産生産能力・生産体制強化対策事業 (家畜能力等向上強化推進事業)

〔1 家畜能力等向上強化推進 (2)肉用牛 ②多様な種雄牛の活用促進対策 ア希少系統種雄牛産子肥育奨励金〕

広域後代検定における共同利用種雄牛及び希少系統の再構築を目的に造成、選抜された県有種雄牛等の枝肉成績の判明率向上、並びに多様な牛肉生産に対するニーズに即した県有種雄牛の利用促進のため、県内協力肥育経営体 (24 経営体) に対して、肥育開始された肥育素牛 (162 頭) 1 頭当たり 19,380 円の奨励金を交付した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	3,140,000	3,139,560

(内訳)

(単位：頭、円)

肥育素牛の父牛	計 画		実 績	
	頭数	金 額	頭数	金 額
睦美幸	69	1,380,000	25	484,500
隆誉	8	160,000	13	251,940
文照福	10	200,000	25	484,500
茂藤竜	6	120,000	9	174,420
松吹雪	4	80,000	1	19,380
美馬桜	33	660,000	60	1,162,800
勝美2	27	540,000	29	562,020
合 計	157	3,140,000	162	3,139,560

2. 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化に向けて、肉用牛優良繁殖雌牛の導入や農家の高齢化等に対応するためのヘルパー活動の支援を行い、本県肉用牛の増頭を促進した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	21,670,000	16,446,521

(1) 肉用牛生産基盤強化対策事業

1) 中核的担い手育成増頭推進

県内の肉用牛経営が優良な繁殖雌牛を計画的に増頭した場合に、増頭実績に応じた奨励金として 65 頭に対して 6,220,000 円 (1 頭当たり 80,000 円 (14 頭)、育種価要件の高い牛には 100,000 円 (51 頭)) を交付した。育種価要件を満たす頭数が計画頭数を下回ったことから、交付実績は計画に達しなかった。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県 農業協 同組合	中部事業部（由布）	5	480,000	5	460,000
	西部事業部（日田）	3	280,000	1	100,000
	南部事業部	6	600,000	2	200,000
	豊肥事業部	50	5,000,000	46	4,400,000
	北部事業部	6	600,000	5	480,000
小 計		70	6,960,000	59	5,640,000
べっぷ日出農業協同組合		4	400,000	4	400,000
下郷農業協同組合		2	180,000	2	180,000
合 計		76	7,540,000	65	6,220,000

2) 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保

地域において多様な系統群による改良基盤の強化を推進するため、生産者集団等が雌牛を購入し、肉用牛経営に対し一定期間貸し付ける場合の奨励金として9頭に対して780,000円（要件により60,000円が1頭、90,000円が8頭）を交付した。要件とされている希少系統に属する個体の貸付頭数が計画頭数を下回ったことから、交付実績は計画に達しなかった。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県農業協同組合西部事業部（日田）		4	300,000	3	240,000
大分県農業協同組合豊肥事業部		10	900,000	6	540,000
合 計		14	1,200,000	9	780,000

3) 優良繁殖雌牛導入支援

繁殖雌牛飼養頭数の維持・拡大を図るため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を購入し、肉用牛経営に対し一定期間貸し付ける場合の奨励金として7頭に対して350,000円（育種価要件により1頭当たり50,000円）を交付した。育種価要件を満たす貸付頭数が計画頭数を下回ったことから、交付実績は計画に達しなかった。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	金 額	交付頭数	交付金額
大分県 農業協 同組合	西部事業部（日田）	3	150,000	1	50,000
	西部事業部（飯田）	1	50,000	0	0
	豊肥事業部	10	500,000	6	300,000
合 計		14	700,000	7	350,000

4) 肉用牛ヘルパー推進

農家の高齢化等に対応し、肉用牛生産の労働負担の軽減を図るため、利用組合が実施する肉用牛ヘルパー活動の組織化、ヘルパー要員確保、傷病時等の際のヘルパー利用に係る互助制度の推進等の活動を支援し、各肉用牛ヘルパー利用組合の利用者に対して利用料金の1/3（定休型）～1/2以内で補助金を交付した。

(単位：円)

事業実施者	計 画		実 績	
	事業費	金 額	事業費	交付金額
庄内町肉用牛ヘルパー利用組合	1,268,790	554,495	1,297,980	553,904
湯布院町肉用牛ヘルパー利用組合	764,245	354,122	716,945	332,622
玖珠九重肉用牛ヘルパー組合	5,767,200	1,705,696	5,754,780	1,704,923
豊後大野市肉用牛ヘルパー推進協議会	4,896,270	1,980,075	3,917,720	1,605,075
豊後大野市肉用牛定休型ヘルパー組合	3,110,076	947,574	3,083,480	939,514
合 計	15,806,581	5,541,962	14,770,905	5,136,038

5) 肉用牛振興推進指導

中核的担い手育成増頭推進、遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保、優良繁殖雌牛導入支援及び肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための関係機関との調整、増頭確認、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導を実施した。

3. 畜産特別資金等推進指導事業

畜産特別資金等借入者の早期経営改善に向け、関係機関と一体となって総合的な支援、指導を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	2,578,000	2,449,657

実施事項	人数 戸数	内 容
都道府県支援推進協議会の開催	1回 (11名)	大分県大家畜・養豚特別支援協議会構成員を参集し前年度事業実施報告並びに本年度事業実施について協議した。
融資機関への指導・助言	4機関	畜特資金の制度、資金融通後の融資機関の役割と借受者に対する支援指導について助言指導を行った。
経営改善計画作成・見直し計画作成指導	3戸	酪農経営2戸、養豚経営1戸の経営改善見直し計画作成に関する支援・指導を行った。
経営改善計画達成指導	17戸	肉用牛経営10戸、酪農経営6戸、養豚経営1戸を対象に改善計画に対する達成状況、改善状況の把握並びに支援・指導を行った。また、酪農経営1戸を対象に濃密指導を行った。
その他借入者への指導事項	33人	融資機関、関係機関等を対象に、畜産経営の家族継承・第三者継承及び事業者の相続、贈与に係る税制について研修会を開催した。

4. 家畜防疫・衛生指導対策事業

家畜伝染病等の発生時に備えた防疫演習、防疫対策の取組啓発等を行うとともに、地域防疫体制の整備・定着を図った。また、農場HACCP認証に向けた構築指導、認証後のフォローアップを行うとともに農場HACCP認証取組促進の周知活動を行い、農場HACCP認証制度の構築、強化・維持、普及を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	5,253,000	5,191,154

実施事項	回数	人数	内 容
1 地域自衛防疫推進事業 ①自衛防疫取組促進会議の開催	2回	20名	自衛防疫演習開催に関する検討並びに事業実施内容の検証をした。
②自衛防疫演習の開催	5回	592名	生産者、県、市町村、関係機関を対象に実地演習を1回、飼養衛生管理基準改正に係る講習並びに実地演習を4回開催した。
2 地域農場 HACCP 認証支援事業 ①農場 HACCP 普及推進会議の開催	1回	14名	生産者、県、関係機関を対象に農場 HACCP の概要・取組事例研修会を WEB 開催した。
②構築指導事業	34回	5農場	農場 HACCP 認証取得並びに認証制度維持に向け取り組む農場の支援を行った。 構築指導 2 農場、フォローアップ 3 農場

5. 畜産経営技術指導事業（地域畜産支援指導等体制強化）

地方競馬全国協会の補助により県内畜産経営の支援強化を行い、地域畜産の活性化や安全で安定的な畜産物の供給に向けて以下の事業を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
地方競馬全国協会 補助金	11,625,000	11,625,000

(1) 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

1) 畜産経営改善のための推進指導事業

畜産経営 23 戸（肉用牛経営 18 戸、酪農経営 5 戸）を対象に経営面・技術面から経営改善指導、経営管理指導、生産技術指導を行い、畜産経営の改善・安定化を図った。

2) 畜産ネットワーク・担い手支援推進事業

畜産に携わる男性・女性の畜産ネットワーク組織の会員が、中核的な存在として地域畜産を担っていくため、会員間の交流や会員自らのスキルアップのための活動支援（研修会 1 回）を行った。

3) 畜産経営スキルアップ支援事業

畜産経営者、後継者、新規就農者等を対象に、畜産経営技術向上のための研修会を開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のため開催を見送った。

4) 新規就農者支援事業

本県肉用牛経営の新規参入促進を図るため、就農フェアの新規参入者の募集、肉用牛定休型ヘルパー業務の体験、県内新規就農希望者を対象とした県内先進農家での研修及び就農に向けた経営計画作成等の支援を実施した。

5) 畜産経営災害等緊急対策事業

豪雨及び雪害により被災した畜産農家の経営継続・経営再開の取り組みを支援した。

6) 肉用牛経営繁殖システム普及推進事業

畜産農家や管内農協が申請作業を省力化することで、飼養管理向上、生産性向上を図ることを目的として、県内肉用牛経営の改善に資するデータのオンライン提供体制整備を支援した。

(2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

1) 食育・地産地消推進事業

生産者組織、畜産関係団体と連携し、SNS を通じて県産畜産物の普及活動を行った。

また、県内市町の学校給食に県産畜産物を提供し、畜産に対する理解醸成と安全・安心な県産畜産物の消費拡大に向けた推進を行った。

2) 畜産共進会開催事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大分県畜産共進会は、肉用牛の部、乳用牛の部は中止となり、肉牛の部（出品頭数 50 頭）のみの開催となった。

3) 地域畜産交流フェア

別府市で開催された農林水産祭において畜産フェスタを開催し、一般消費者を対象に畜産に関する理解醸成、県産畜産物の消費拡大（広報活動含む）を推進するために、生産者・県・関係機関と連携し取り組んだ。

4) 多様な種雄牛活用推進事業

県内生産された肥育素牛を肥育する生産者（24 経営体）を対象に希少系統種雄牛産子肥育素牛の導入（162 頭）に係る奨励金交付業務を行った。

5) 優良畜産表彰事業

県内畜産農家の優良経営を募集・収集し、中央畜産会が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会に肉用牛繁殖経営 1 事例を推薦するとともに、発表会への取組を支援した。

6) 種畜精液保管譲渡推進事業

豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛の銘柄確立のため、県有種雄牛の精液保管譲渡の支援を行った。

(3) 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

1) 地方競馬支援対策事業

馬事・畜産普及啓発として、佐賀競馬への冠レースの支援（年 4 回）を行った。

6.全国優良経営発表会調査費

県内畜産農家の優良経営を募集・収集し、中央畜産会が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会に肉用牛繁殖経営の平川牧場（平川修・美穂：日田市）を推薦するとともに、発表会への取組を支援した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 補助金	124,000	124,000

7.和牛肉等販売促進緊急対策事業（学校給食提供推進事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うインバウンド需要の減少などにより在庫が増加した大分県産食肉の消費拡大を図るとともに、生産・供給体制を維持した。

〔対象地域：豊後大野市 対象畜産物：豊のしゃも〕

区 分	予算額（円）	決算額（円）
大分県 補助金	502,000	502,000

8.畜産コンサルタント委託事業

肉用牛経営及び酪農経営に対して、経営診断による経営改善指導を行い、畜産経営の安定を図った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
大分県 委託費	2,643,000	2,643,000

（1）畜産経営技術総合支援指導

経営管理や生産技術の分析を行い、改善項目について関係機関と連携をとり改善指導を実施した。

1）経営改善指導

経営改善の必要な肉用牛経営、酪農経営を対象に経営面・技術面からの経営診断を実施し助言指導を行った。

2）経営管理指導

肉用牛経営、酪農経営を対象に経営診断を行った。また、酪農経営を対象にした酪農検討会に参画し助言指導を行った。

3）生産技術指導

肉用牛経営に生産技術、経営計画の支援指導を行った。

（2）分析結果報告書の作成

経営診断分析結果を取りまとめて報告書を作成した。

《対象経営戸数》 (単位：戸)

	肉用牛	酪農	合計
経営改善指導	4	2	6
経営管理指導	13	3	16
生産技術指導	1	0	1
合計	18	5	23

9. 肉用牛担い手確保総合対策事業（畜産インターンシップ対策）

本県肉用牛経営の新規参入促進を図るため、国及び県が主催する就農フェア等においての新規参入者の募集、県内外からの希望者への肉用牛定休型ヘルパー業務の体験（県内2名、県外1名）、県内新規就農希望者16名を対象とした県内先進農家8戸での研修及び就農に向けた経営計画作成等の支援を実施した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
大分県 委託費	3,400,000	2,725,177

10. 貸付事業指導等事業

畜産近代化リース協会の機械施設借受者13名（肉用牛経営2戸、酪農経営11戸）に対して、機械施設18台の保管状況の確認と管理状況の調査並びに適正な利用について指導を行った。

また、県内各農協等に本事業の説明をするとともに、新規利用推進を図った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
畜産近代化リース協会 委託費	195,000	180,828

11. 畜産関係団体調整機能強化事業（関係団体調整機能強化事業）

畜産に携わる男性・女性の畜産ネットワーク組織会員の個々のスキルアップ及び交流を図るための研修会を開催した。また、生産者・生産者組織等からの各種相談対応に応じるため、畜産コンサルタント団員の派遣及び研修会受講による職員のスキルアップを行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	1,931,000	1,931,841

12. 公庫資金活用推進事業（課題解決サポート事業）

肉用牛肥育経営2戸を対象に公庫資金借入後の経営状況の把握を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	40,000	44,000

1.3. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

(1) 全国推進事業

1) 畜産クラスター優良事例調査業務（畜産クラスター全国推進事業）

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な課題と対応策を検討するための基礎資料として、県内の優良事例を対象に調査した。〔竹田市畜産クラスター協議会〕

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	250,000	250,000

2) 全国実態調査業務（畜産クラスター全国推進事業）

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な経営情報を収集するため、県内の先進的な肉用牛経営9戸、酪農経営2戸を対象に経営調査を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	880,000	880,000

3) 畜産クラスター改善効果調査業務（畜産クラスター推進事業（改善効果））

畜産クラスター事業を活用し機械導入した肉用牛経営1戸を対象に導入前後の経営調査を行い、畜産クラスター事業活用の改善効果を検証した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	150,000	150,000

(2) 機械導入事業

地域を支える畜産農家の支援のため、各畜産クラスター協議会が策定したクラスター計画に基づき収益性の向上を図るために機械導入事業を推進し、窓口団体として事業推進業務を実施した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	2,124,000	2,016,686

	要望調査 (配分予定数)			参加申請（令和4年3月31日）		
	協議会数	取組主体数	機械台数	協議会数	取組主体数	機械台数
令和3年度	10	44件	71台	9	38件	60台

実施事項	回数	人数	内 容
全国事業推進会議	無し		新型コロナウイルス感染拡大により中止
事業説明会	無し		5/10付けで事業説明資料を各クラスター協議会、行政機関、各関係団体に送付
機械導入状況調査に係る現地確認	2日間	2協議会 5取組主体	導入された機械装置7台について、リース事業者による検収作業を補完するための現地確認作業 〔杵築市・玖珠九重畜産クラスター協議会〕

(3)生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、各畜産クラスター協議会の構成員が取り組む繁殖牛の増頭を支援した。(17.5万円/頭または24.6万円/頭) ※実績頭数 566頭

区 分	予算額（円）	決算額（円）
全国肉用牛振興基金協会 委託費	1,949,000	1,948,051

1.4.畜産・酪農生産力強化対策事業（家畜生産性向上対策事業）

酪農経営2戸、肉用牛経営3戸（繁殖1戸、肥育2戸）を対象に家畜生産性に係るデータ収集と、生産性向上のためのデータ分析を行い、分析結果をもとに技術指導を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	445,000	424,136

1.5.酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（酪農労働省力化対策事業）

酪農家における労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入並びに当該機械装置と一体的な施設整備を支援するため、県酪農協並びに酪農家に対し事業の普及推進を行った。本年度の事業対象は無かった。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	134,000	123,920

1.6.畜産経営体生産性向上対策事業（ICT等機械装置等導入事業）

酪農・肉用牛経営の生産基盤強化に資するため、酪農・肉用牛経営におけるICT等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援することにより、過重となっている労働時間の削減を加速化し、計画的な生産性向上の支援を行った。本年度は年度途中で導入を取りやめた経営体が1戸となった。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	556,000	497,669

協議会名	要望調査		参加申請	
	取組主体数	要望件数	取組主体数	申請件数
大分県酪楽酪応援会議	4	4	4	4
竹田市畜産 ICT 協議会	3	3	2	2
宇佐市肉用牛クラスター協議会	2	3	2	3
合 計	9	10	8	9

17. 畜産共進会及び畜産フェスタ開催事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大分県農林水産祭・第 82 回大分県畜産共進会に係る肉用牛・乳用牛の部は中止となり、10月2日に豊後大野市で肉牛の部（50頭）のみが開催された。

一方、10月16日・17日に別府市で開催された農林水産祭において畜産フェスタを開催し、一般消費者を対象に県産豚肉や鶏卵、鶏肉の展示販売を行い畜産に関する理解醸成、県産畜産物の消費拡大を推進するために、生産者・県・関係機関と連携し取り組んだ。

18. 養豚協会、養鶏協会等の活動支援（団体事務委託）

経営支援課内に団体支援室を設け各団体の活動支援を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
団体事務委託収入	1,121,000	1,181,544

19. 種豚登録業務

大分県養豚協会より業務委託を受け、日本養豚協会の規程に基づき種豚の改良増殖を推進するとともに、養豚経営の生産基盤強化を図るために登録業務を行った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
登記・登録料	176,000	146,850

主 な 種 別	実施予定頭数	実績頭数
黒豚生産農場認定	1 施設	1 施設
子 豚 登 記	80 頭	45 頭
種 豚 登 録	25 頭	9 頭

20. 情報活動事業

中央並びに県内における畜産に関する資料を収集し、関係者に対し情報提供を行うとともに、中央畜産会が発刊する畜産コンサルタント誌・経営情報など参考資料等の斡旋を積極的に行った。

また、ホームページで畜産関係者、消費者に向け情報提供を行った。

(価格安定課)

1. 肉用子牛生産者補給金制度（業務対象年間：令和2年度～令和6年度）

令和3年1月～令和3年12月の間において、その他の肉専用種を除く全ての品種で子牛平均売買価格が高値で推移したため生産者補給金の発動はなかった。

<制度の仕組み>

四半期毎に農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、本制度契約生産者がその期間中に販売、又は自家保留した登録肉用子牛に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る。

(1) 保証基準価格・合理化目標価格と平均売買価格

		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格		429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均 売 買 価 格	令和3年1月～3月	774,500	721,900	297,300	249,800	380,500
	令和3年4月～6月	756,000	666,300	—	246,300	339,000
	令和3年7月～9月	720,400	600,500	—	245,300	326,900
	令和3年10月～12月	738,100	659,800	—	237,600	315,400

*その他の肉専用種は令和2年度より算定期間が1年（4月～3月）となった。

(2) 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

契約区分	契約者数					備考
	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	
個人	1,217	1,220	1,221	965	972	
農協	—	—	—	—	—	
農協連	—	—	—	—	—	
農事組合法人	3	3	3	3	4	
株式会社	7	9	13	21	23	
有限会社	12	12	13	14	17	
民法法人	—	—	—	—	—	
合計	1,239	1,244	1,250	1,003	1,016	

(3) 事務委託契約締結状況

事務委託先	事務委託先数					備考
	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	
J A 農協	5	5	5	5	3	
専門農協	2	2	2	2	2	県酪、熊本
農協連	1	1	1	1	1	全農大分県本部
その他	1	1	1	1	1	配合飼料基金
合計	9	9	9	9	7	

(4) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳 (単位：頭)

品種	個体登録頭数					備考
	1月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月～12月 合計	
黒毛和種	2,992	2,752	2,811	2,904	11,459	
褐毛和種	2	4	1	1	8	
乳用種の品種	594	676	542	231	2,043	
肉専用種と乳用種 の交雑の品種	401	374	353	318	1,446	
合計	3,989	3,806	3,707	3,454	14,956	

(5) 契約肉用子牛1頭当たりの負担金（生産者積立金の額） (単位：円)

品種	生産者 積立金	負担区分		
		機構(1/2)	県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	1,600	800	400	400
褐毛和種	6,000	3,000	1,500	1,500
黒毛和種及び褐毛和種 以外の肉専用種の品種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種の品種	6,800	3,400	1,700	1,700
肉専用種と乳用種 の交雑の品種	3,200	1,600	800	800

(6) 生産者積立金造成内訳 (単位：頭、円)

品種	区分	契約 頭数	積立 単価	積立所要額	負担区分		
					機構(1/2)	県(1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	継続	10,862	1,600	17,379,200	8,689,600	4,344,800	4,344,800
	新規	597		955,200	4,77,600	238,800	238,800
	計	11,459		18,334,400	9,167,200	4,583,600	4,583,600
褐毛和種	継続	0	6,000	0	0	0	0
	新規	8		48,000	24,000	12,000	12,000
	計	8		48,000	24,000	12,000	12,000
乳用種の品種	継続	0	6,800	0	0	0	0
	新規	2,043		13,892,400	6,946,200	3,473,100	3,473,100
	計	2,043		13,892,400	6,946,200	3,473,100	3,473,100
肉専用種と乳用種 の交雑の品種	継続	1,350	3,200	4,320,000	2,160,000	1,080,000	1,080,000
	新規	96		307,200	153,600	76,800	76,800
	計	1,446		4,627,200	2,313,600	1,156,800	1,156,800
合計	継続	12,212	-	21,699,200	10,849,600	5,424,800	5,424,800
	新規	2,744		15,202,800	7,601,400	3,800,700	3,800,700
	計	14,956		36,902,000	18,451,000	9,225,500	9,225,500

(7) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

区分		保証基準価格の品種区分				計			
		黒毛和種	褐毛和種	乳用種	交雑種				
I 期 首 残 高	(1)	生産者積立金	16,779,311	57,600	13,168,927	4,314,426	34,320,264		
	(2)	生産者積立準備金	213,622,040	0	0	0	213,622,040		
	内 訳	(3)	生産者の負担金充当分	61,757,190	-	-	-	61,757,190	
		(4)	県の生産者積立助成金充当分	151,864,850	-	-	-	151,864,850	
		(5)	機構の生産者積立助成金充当分	0	-	-	-	0	
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	(6)	生産者積立金純増加額 (9)+(12)+(15)+(18)	9,406,000	36,000	10,419,300	2,390,400	22,251,700		
	(7)	生産者積立準備金からの繰入額 (10)+(13)+(16)	8,928,400	12,000	3,473,100	2,236,800	14,650,300		
	(8)	計	18,334,400	48,000	13,892,400	4,627,200	36,902,000		
	内 訳	生 産 者	(9)	負担金	238,800	12,000	3,473,100	76,800	3,800,700
			(10)	生産者積立準備金(3)からの繰入	4,344,800	0	0	1,080,000	5,424,800
		(11)	小計	4,583,600	12,000	3,473,100	1,156,800	9,225,500	
		県	(12)	生産者積立助成金	0	0	0	0	0
	(13)		生産者積立助成金(4)からの繰入	4,583,600	12,000	3,473,100	1,156,800	9,225,500	
	(14)		小計	4,583,600	12,000	3,473,100	1,156,800	9,225,500	
	機 構	(15)	生産者積立助成金	9,167,200	24,000	6,946,200	2,313,600	18,451,000	
		(16)	生産者積立助成金(5)からの繰入	0	0	0	0	0	
		(17)	小計	9,167,200	24,000	6,946,200	2,313,600	18,451,000	
	そ の 他	(18)	生産者積立金とすることを指定して 寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0	
	III 他 の 資 金 か 繰 ら 入 の 状 況 等	(19)	特別の積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0	
		(20)	償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0	
		(21)	生産者補給金に充てるための全国協会等からの 借入金額	0	0	0	0	0	
		(22)	生産者積立金に係る運用果実	424	0	348	109	881	
		(23)	生産者補給金交付額(21)を含む	0	0	0	0	0	
(24)		生産者積立金から借入金返済額	0	0	0	0	0		
(25)		生産者分生産者積立準備金に係る運用果実	1,123	0	0	0	1,123		
(26)		県分生産者積立準備金に係る運用果実	2,887	0	0	0	2,887		
(27)		機構分生産者積立準備金返還金	0	-	-	-	0		
(28)	生産者分生産者積立準備金返還金	278,517	-	-	-	278,517			
(29)	償還円滑化積立金から生産者積立準備金への繰 入額	0	0	0	0	0			
IV 期 末 残 高	(30)	生産者積立金 (1)+(8)+(19)+(20)+(21)+(22)-(23)-(24)	35,114,135	105,600	27,061,675	8,941,735	71,223,145		
	(31)	生産者積立準備金 (32)+(33)+(34)	198,697,233	0	0	0	198,697,233		
	内 訳	(32)	生産者の負担金充当分 ※計の欄 (3)-(10)+(25)-(28)	56,054,996	-	-	-	56,054,996	
		(33)	県の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (4)-(13)+(26)	142,642,237	-	-	-	142,642,237	
		(34)	機構の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (5)-(16)-(27)	0	-	-	-	0	

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（業務対象年間：平成30年12月30日～令和3年度）

本制度の肥育牛交付金交付実績は、5,669頭に対して152,796,502円であった。肉専用種は546頭に対して6,446,651円、交雑種については、2,440頭に対して70,417,392円、乳用種については、2,683頭に対して75,932,459円の交付を行った。

また、新型コロナウイルス感染症に係る畜産支援対策として、4月、5月生産者負担金請求分の生産者負担金納付猶予を行った。

(1) 交付基準

肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和することを目的に、生産者と県からの拠出金（交付金の額の1/4に相当する額）と農畜産業振興機構からの交付金（交付金の額の3/4に相当する額）を併せて標準的販売価格と標準的生産費との差額の9割を交付する。

(2) 1頭当たり生産者負担金

(単位：円)

区分	1頭当たりの生産者負担金	うち		備考
		生産者	大分県	
肉専用種	5,000	4,250	750	
交雑種	13,000	12,170	830	
乳用種	11,000	10,470	530	

(3) 積立頭数の内訳

(単位：頭)

区分	令和3年度						計	
	早出し (3月販売・4月請求分)		4月1日 ～6月30日		7月1日 ～9月30日	10月1日 ～12月31日		1月1日 ～3月31日
	通常請求	納付猶予	通常請求 (早出し含む)	納付猶予	通常請求 (早出し含む)	通常請求 (早出し含む)		通常請求 (早出し含む)
肉専用種	0	2	657	1,342	1,919	1,882	1,891	7,693
交雑種	0	1	334	613	995	989	927	3,859
乳用種	0	0	233	448	740	420	710	2,551
計	0	3	1,224	2,403	3,654	3,291	3,528	14,103

※新型コロナウイルス感染症に係る畜産支援対策として、R3. 4、5月生産者負担金請求分は納付猶予を行った。

※6月生産者負担金請求分より、生産者負担金納付が再開された。

(4) 肥育安定基金の造成状況

(単位：円)

区 分			肉専用種	交雑種	乳用種	合計	
期 首 残 高 ①			21,125,479	43,901,278	25,675,196	90,701,953	
増 加	積 立 金	大分県	補助金②	3,808,200	2,148,040	891,672	6,847,912
			準備金③	953,550	545,310	222,918	1,721,778
		生産者④	26,983,250	39,491,650	22,018,410	88,493,310	
		計 ⑤ = (②+③+④)	31,745,000	42,185,000	23,133,000	97,063,000	
	受取肥育牛交付金(機構3/4分)⑥	6,446,651	63,678,803	66,087,588	136,213,042		
	運 用 益 ⑦	288	3,718	1,691	5,697		
	小 計 ⑧ = (⑤+⑥+⑦)	38,191,939	105,867,521	89,222,279	233,281,739		
合 計 ⑨ = (①+⑧)			59,317,418	149,768,799	114,897,475	323,983,692	
減 少	肥育牛交付金(機構3/4分)⑩		6,446,651	63,678,803	66,087,588	136,213,042	
	肥育牛交付金(基金1/4分)⑪		0	6,738,589	9,844,871	16,583,460	
	交付金合計 ⑫ = (⑩+⑪)		6,446,651	70,417,392	75,932,459	152,796,502	
期 末 残 高 (⑨-⑫)			52,870,767	79,351,407	38,965,016	171,187,190	

(5) 交付金単価算定結果

(単位：円)

区 分		令和3年					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
肉専用種	標準の販売価格(A)	1,250,766	1,213,901	1,272,961	1,315,112	1,236,602	1,222,434
	標準の生産費(B)	1,231,533	1,231,393	1,231,296	1,194,295	1,194,029	1,194,122
	差額(C) = (A) - (B)	19,233	△ 17,492	41,665	120,817	42,573	28,312
	交付金単価 = (C) × 0.9 (生産者積立金払底後交付金単価)	-	15,742.8 (11,807.1)	-	-	-	-
交雑種	標準の販売価格(A)	760,481	717,773	751,301	800,696	792,034	748,422
	標準の生産費(B)	785,769	809,486	780,922	754,470	763,542	777,850
	差額(C) = (A) - (B)	△ 25,288	△ 91,713	△ 29,621	46,226	28,492	△ 29,428
	交付金単価 = (C) × 0.9	3,353.8	82,541.7	26,658.9	-	-	26,485.2
乳用種	標準の販売価格(A)	442,341	442,259	434,717	441,637	449,161	449,956
	標準の生産費(B)	490,623	496,130	495,742	480,929	473,056	483,052
	差額(C) = (A) - (B)	△ 48,282	△ 53,871	△ 61,025	△ 39,292	△ 23,895	△ 33,096
	交付金単価 = (C) × 0.9	3,495.1	48,483.9	54,922.5	35,362.8	21,505.5	29,786.4

区 分		令和3年						令和4年
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
肉専用種	標準の販売価格(A)	1,243,992	1,201,182	1,191,252	1,216,128	1,263,870	1,306,848	1,233,060
	標準の生産費(B)	1,185,271	1,185,739	1,186,400	1,122,558	1,123,379	1,124,274	1,087,468
	差額(C) = (A) - (B)	58,721	15,443	4,852	93,570	140,491	182,574	145,592
	交付金単価 = (C) × 0.9	-	-	-	-	-	-	-
交雑種	標準の販売価格(A)	743,804	725,834	708,954	695,474	699,695	735,312	711,650
	標準の生産費(B)	788,405	794,184	731,831	715,156	699,182	699,539	701,039
	差額(C) = (A) - (B)	△ 44,601	△ 68,350	△ 22,877	△ 19,682	513	35,773	10,611
	交付金単価 = (C) × 0.9	40,140.9	61,515.0	20,589.3	17,713.8	-	-	-
乳用種	標準の販売価格(A)	453,297	453,397	448,067	455,320	456,777	455,972	452,170
	標準の生産費(B)	490,531	485,646	487,320	479,927	493,481	500,884	509,142
	差額(C) = (A) - (B)	△ 37,234	△ 32,249	△ 39,253	△ 24,607	△ 36,704	△ 44,912	△ 56,972
	交付金単価 = (C) × 0.9	33,510.6	29,024.1	35,327.7	22,146.3	33,033.6	40,420.8	45,274.8

※ 肉専用種についてはブロック算定とし、交雑種、乳用種については全国算定により算出している。

※ 交付金単価について、R3.1月分は精算払単価、R3.2月～R3.12月分は確定単価、R4.1月は概算払単価。

※ 生産者負担金納付猶予対象牛については、国庫分(3/4)となる。

(6) 肥育牛交付金交付実績総括表

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	交付金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
令和3年 1月期 (精算金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	10	3,353.8	33,538
		納付猶予	—	301		757,122
	乳用種	通常	—	0	3,495.1	0
		納付猶予	—	214		560,963
計			21	525	—	1,351,623
令和3年 2月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	15,742.8	0
		納付猶予	—	546		6,446,651
	交雑種	通常	—	5	82,541.7	412,708
		納付猶予	—	297		18,386,153
	乳用種	通常	—	0	48,483.9	0
		納付猶予	—	201		7,308,943
計			50	1,049	—	32,554,455
令和3年 3月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	26,658.9	0
		納付猶予	—	309		6,178,191
	乳用種	通常	—	0	54,922.5	0
		納付猶予	—	187		7,702,877
計			21	496	—	13,881,068
令和3年 4月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	0	35,362.8	0
		納付猶予	—	222		5,887,902
計			7	222	—	5,887,902
令和3年 5月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	0	21,505.5	0
		納付猶予	—	207		3,338,723
計			7	207	—	3,338,723
令和3年 6月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	66	26,485.2	1,748,024
		納付猶予	—	246		4,886,511
	乳用種	通常	—	27	29,786.4	804,232
		納付猶予	—	175		3,909,461
計			20	514	—	11,348,228
令和3年 7月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	125	40,140.9	5,017,612
		納付猶予	—	188		5,659,856
	乳用種	通常	—	48	33,510.6	1,608,509
		納付猶予	—	141		3,543,743
計			21	502	—	15,829,720

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	交付金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
令和3年 8月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	184	61,515.0	11,318,760
		納付猶予	—	119		5,490,209
	乳用種	通常	—	122	29,024.1	3,540,940
		納付猶予	—	74		1,610,834
計		23	499	—	21,960,743	
令和3年 9月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	182	20,589.3	3,747,252
		納付猶予	—	89		1,374,328
	乳用種	通常	—	145	35,327.7	5,122,516
		納付猶予	—	41		1,086,323
計		19	457	—	11,330,419	
令和3年 10月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	264	17,713.8	4,676,443
		納付猶予	—	55		730,685
	乳用種	通常	—	205	22,146.3	4,539,991
		納付猶予	—	38		631,167
計		22	562	—	10,578,286	
令和3年 11月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	188	33,033.6	6,210,314
		納付猶予	—	20		495,502
計		8	208	—	6,705,816	
令和3年 12月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	236	40,420.8	9,539,308
		納付猶予	—	9		272,839
計		8	245	—	9,812,147	
令和4年 1月期 (概算金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	177	45,274.8	8,013,636
		納付猶予	—	6		203,736
計		8	183	—	8,217,372	
合計	肉専用種	通常	—	0	—	0
		納付猶予	—	546	—	6,446,651
		小計	—	546	—	6,446,651
	交雑種	通常	—	836	—	26,954,337
		納付猶予	—	1,604	—	43,463,055
		小計	—	2,440	—	70,417,392
	乳用種	通常	—	1,148	—	39,379,446
		納付猶予	—	1,535	—	36,553,013
		小計	—	2,683	—	75,932,459
	計		235	5,669	—	152,796,502

※合計の交付対象者数は延べ人数である。

※R2.8月分より肉専用種の交付金単価については、生産者積立金が払底したため国庫分(3/4)のみとなった。

※交付金額の②単価の()は生産者積立金払底後の交付金単価。

3 . 大分県肉豚価格安定対策事業（業務対象年間：令和3年度～令和5年度）

独立行政法人農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度に参加する県内の肉豚生産者が積み立てする生産者負担金の一部を補助する事業を実施した。

【県費補助金は、畜産協会より四半期毎に農畜産業振興機構に積立てを行った。】

(1) 生産者負担金単価

(単位：円)

区 分	生産者負担金単価	内 容	
		内 県補助金	内 生産者負担分
第1四半期～第4四半期	400	60	340

(2) 事業対象頭数

234, 123頭

(3) 肉豚補てん準備金造成状況

(単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		99,851,285	前期繰越金
増加	運用益	2,044	
	養豚基金負担金返戻金	30,195,625	第1業務対象年間無事戻し額
	小 計	30,197,669	
減少	養豚基金負担金支出	7,192,380	
	小 計	7,192,380	
期 末 残 高		122,856,574	

(4) 肉豚補てん積立金造成状況

(単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		0	
増加	県生産者積立金補助金収入	6,855,000	
	小 計	6,855,000	
減少	養豚基金負担金支出	6,855,000	
	小 計	6,855,000	
期 末 残 高		0	

4. 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

生産者補給金交付契約を締結した生産者の個体識別及び個体登録、保留確認、生産者に対する啓発指導及び業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる報告並びに、家畜市場での取引情報を収集し機構へ報告した。

また、本制度の適正な実施を図るため事務委託先及び契約生産者に対して肉用子牛生産者補給金制度等に係る交付契約の内容、手続き等についての点検、調査、指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	13,900,000	13,873,531

(2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るため運営体制の強化を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	6,790,000	6,790,000

5. 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業

肉用牛肥育経営安定交付金制度における積立金管理者として、農畜産業振興機構の委託を受け、事業の円滑な実施を図るため、事務委託先並びに契約生産者に対する調査・指導を行うとともに、円滑な交付金の交付を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 委託費	7,800,000	7,386,222

6. 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響対策として、所得や営業利益を令和2年度と比較して3%改善することを目的に、経営体質の強化のため5つの取組みを行う肉用牛生産者等に対して、肥育牛等が販売された場合に奨励金の交付を行った。

奨励金交付頭数及び交付額※マルキン対象牛

販売月	奨励金交付対象頭数 (頭)	奨励金交付額 (円)
令和3年1月～3月	3,259	65,180,000

奨励金交付頭数及び交付額※マルキン対象牛以外

販売月	奨励金交付対象頭数 (頭)	奨励金交付額 (円)
令和2年4月～ 令和3年3月	516	10,320,000

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	1,643,293	1,643,293

7. 肥育牛経営改善等緊急対策事業（肥育牛経営等緊急支援特別対策事業）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響対策として、所得や営業利益を令和3年度と比較して3%改善することを目的に、経営体質強化のため8つの取組みのうち3つ以上の取組みを行う肉用牛生産者等に対して、肥育牛等が販売された場合に奨励金1頭当たり20,000円を交付した。

また、本事業の要件に伴い、肉用牛肥育経営安定交付金制度の生産者負担金納付猶予終了月の5月までの交付を行った。

奨励金交付頭数及び交付額※マルキン対象牛

販売月	奨励金交付対象頭数（頭）	奨励金交付額（円）
令和3年4月、5月	2,158	43,160,000

奨励金交付頭数及び交付額※マルキン対象牛以外

販売月	奨励金交付対象頭数（頭）	奨励金交付額（円）
令和3年4月、5月	111	2,220,000

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	2,557,296	2,557,296

(家畜衛生課)

1. 家畜生産農場衛生対策事業

ヨーネ病等の防疫対策、牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止対策、牛ウイルス性下痢(BVD)清浄化対策及び吸血昆虫媒介疾病の発生・流行防止対策を推進し、また、農場自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	7,370,000	6,274,769
事業収入 (ヨーネ病自己資金)	873,000	872,830
(BVD病自己資金)	146,000	145,820

(1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫対策

ヨーネ病自主検査

ヨーネ病細菌培養等検査 (糞便の細菌培養)

家畜保健衛生所へ検査依頼頭数 337 頭

(2) 牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止対策

牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るため講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策を推進した。

講習会の開催

開催日：令和4年1月13日(木)

演 題：「牛伝染性リンパ腫の対策について」

講 師：宮崎大学農学部獣医学科 乗峰 潤三 教授

(3) BVD 清浄化対策

BVDの清浄化を図るためバルク乳等を用いた検査の実施及び持続感染牛(P I牛)の自主とう汰を実施する。また講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行う。

BVD 自主検査 46 検体 (バルク)

PI牛自主とう汰 なし

講習会の開催

開催日：令和3年12月8日(水)

演 題：「国内でのBVDの被害状況と清浄化成功事例について」

講 師：KMバイオロジクス株式会社 社長付 津田 知幸 氏

(4) 農場飼養衛生管理強化対策

農場飼養衛生管理向上のための指導体制を確立し、生産者自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

・検討会の開催 1回

・指導農場 242戸 (延べ戸数329戸)

(5) 疾病発生流行防止支援対策

吸血昆虫媒介疾病のワクチンを接種することで牛の疾病発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止を図った。

2. 牛疾病検査円滑化推進対策事業

死亡牛の円滑な収集、輸送、並びに適正な処理をすることにより、BSE検査の円滑な実施と良好な家畜衛生及び環境の維持を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	5,565,000	5,495,000

(1) 死亡牛検査処理安定化対策

輸送費及び化製処理費に対する補助

[補助対象頭数及び助成金額]

	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	R3年度合計
96ヶ月齢以上 (頭)	101	70	84	114	369
助成金額 (円)	1,155,500	804,000	962,000	1,307,000	4,228,500

3. 獣医療提供体制整備推進総合対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため県と連携し、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	13,200,000	12,875,939

給付対象学生 : 12名 (国 1/2 大分県 1/2)

4. 大分県獣医師確保対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付やインターンシップ研修を実施し、必要とする獣医師の安定確保に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	13,674,000	13,494,000

給付対象学生 : 12名 (国 1/2 大分県 1/2)

1名 (県)

合計 13名

インターンシップ研修を受けた学生 : 0名 (県)

5. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚熱等の特定家畜伝染病が万一発生した場合、損害を互助補償し畜産経営への影響を緩和するため、生産者が行う積立を支援することにより畜産経営の安定的発展に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	2,142,000	2,087,189

(1) 家畜防疫互助等推進事業

推進会議の開催、生産者・関係団体等に対する事業の普及、指導、連絡調整等

(2) 家畜防疫互助事業

契約状況一覧

契約戸数(戸)		家畜の種類	契約頭数(頭)	積立金額(円)	
乳用牛・肉用牛	957	・乳用牛(24ヶ月齢以上)	8,414	2,061,430	
		・乳用牛(24ヶ月齢未満)	3,836	345,240	
		・肉専用繁殖雌(24ヶ月齢以上)	16,442	3,863,870	
		・肉専用繁殖雌(24ヶ月齢未満)及び肉専用肥育牛	23,306	2,913,250	
		・交雑種	6,733	639,635	
		・乳用種肥育牛	3,802	342,180	
		計	62,533	10,165,605	
豚	家族型	5	・繁殖用種豚(雌)	548	205,500
			・" (雄)	30	11,250
			・肥育豚	5,260	552,300
	小計			5,838	769,050
	企業型	19	・繁殖用種豚(雌)	11,685	4,557,150
・" (雄)			232	90,480	
・肥育豚			112,680	12,394,800	
小計			124,597	17,042,430	
計			130,435	17,811,480	
合 計				27,977,085	

6. 自衛防疫強化総合対策事業

区 分	予算額(円)	決算額(円)
大分県 補助金	174,000	174,000

(1) 推進事業の開催

開催年月日	会議名	開催場所
R4.1.26	予防注射事業標準対価表検討会	全農おおいた
R4.1.26	牛病部会	全農おおいた
R4.3.23	家畜衛生専門委員会	書面開催

(2) 調査資料の作成

対象農家	農場数
養豚農家	47戸
養鶏農家	144戸
計	191戸

(3) 広報活動

- ・立ち入り禁止ステッカー 1,000部
- ・飼養衛生管理マニュアル 1,600部

7. 死亡牛適正処理促進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	1,138,000	1,039,350
事業収入 (自己資金)	1,138,000	1,039,351

- (1) 施設運営費・・・コンテナ維持管理電気料
 任意労災保険
 フォークリフト年次・月次検査手数料
- } 1/2 補助

8. 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の飼養衛生について馬飼養者及び関係団体を組織化し、計画的に事業を実施、浸透させることにより、馬飼養衛生管理体制の総合的な整備と馬産の振興に資するための指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 助成金	467,000	450,034

- (1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催
 令和3年12月1日(水)
- (2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催
 令和3年12月1日(水)
 演題：「馬の感染症と予防対策について」
 講師：JRA 日本中央競馬会 馬事部防疫課 課長補佐 小平 和道 氏
- (3) 地域馬獣医療実態調査
 調査戸数 39戸

9. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の馬に対する馬インフルエンザワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発等の取り組みを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 助成金	739,000	713,907

- (1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催
 令和3年12月1日(水)
- (2) 馬インフルエンザワクチン接種頭数 47頭

10. 野生獣衛生推進体制促進事業

地域において家畜衛生関係者を中心とした野生獣被害の情報発信体制の構築、推進を行うとともに、野生獣被害の主となるイノシシ及びシカについての衛生実態を把握し、畜産農家等の飼養衛生管理に対する意識向上を図り、野生獣衛生対策の推進に取り組んだ。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会助成金	4,343,000	4,312,356

(1) 地域衛生技術連絡協議会の開催 (年3回)

第1回 令和3年5月27日(木)

第2回 令和3年12月8日(水)

・講習会 演題:「豚熱と野生イノシシ対策も含めた現状について」

講師: KMバイオロジクス株式会社 社長付 津田知幸 氏

第3回 令和4年2月25日(金)

(2) 野生獣の衛生実態調査

イノシシ 62頭

(検査項目 SFTS・E型肝炎・ADV・PRRS・CSF・豚流行性下痢・毒素産生大腸菌)

シカ 26頭

(検査項目 牛PI-3・牛RS・イバラキ病・IBR・毒素産生大腸菌)

11. 牛せき柱適正管理等推進事業

化製業者と、牛せき柱以外分別供給契約を締結した上で、牛せき柱を適正に管理し、適正管理の確認や作業者に対する指導・監督等を行う責任者を設置するとともに、研修会を自ら実施した食肉事業者に対し交付される促進費の交付事務に関する手続きを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産副産物協会 委託費	240,000	249,783

事業対象食肉業者 1社

12. 特定疾病予防接種推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	95,623,000	94,707,134

国庫補助事業・協会単独事業実績

牛疾病

(単位:頭)

協議会名	牛五混	イバラキ	流行熱	流行熱・イバラキ	異常産三混	異常産四混	ヘモフィルス
県中央	986	982	0		0	2,019	1,054
県南	4,973	4,868	0	3,909	0	7,809	4,762
県西	3,032	3,032	0	0	254	4,139	3,032
県北	1,767	1,729	0	0	935	3,978	1,772
合計	10,758	10,611	0	3,909	1,189	17,945	10,620

鶏疾病 (単位：千羽)

協議会名	ND	NDIB
	生	生
県中央（大分市）	120	0
県南地域（大野地区）	0	4
県西地区	0	0
県北	0	0
合計	120	4

1.3. 種畜精液保管譲渡推進事業

大分県肉用牛振興の基本方針に基づき、豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛銘柄確立のため、地域の実情に応じ大分県肉用牛改良方針に沿った精液の保管譲渡を実施した。

区分	予算額（円）	決算額（円）
事業収入	14,940,000	15,005,156
事務手数料収入	1,397,000	1,482,090

支所	譲渡本数（本）
大分	3,348
豊後大野	3,938
玖珠	2,124
宇佐	2,260
合計	11,670

1.4. 予防注射事故対策事業

手当金及び見舞金交付

死亡2頭：手当金290,000円

1.5. 自衛防疫普及啓発事業

自衛防疫を推進するため、家畜の疾病及び飼養衛生管理に関する研修会の開催や啓発資料の作成・配布を実施した。

- ・市場日程表への啓発資料掲載

1.6. 高能力雌牛保留促進事業（ゲノム育種価検査）

繁殖農家等がゲノム育種価評価の手法を活用し、能力が一定以上（県内雌子牛の概ね1/4以上）ある高能力雌牛を選抜保留するため、雌子牛のゲノム育種価検査を実施した。

区分	予算額（円）	決算額（円）
検査事務手数料収入	1,600,000	1,738,000

(管理課)

1. 肉用牛繁殖情報デジタル化推進事業

本事業は、大分県畜産分野において、農家及び県内畜産関係団体におけるデータ資源の利活用並びに事務作業の改善及び改革を図ることを目的とし、農家及び県内畜産関係団体がデジタル技術を活用して有機的に連携する体制の構築を支援した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 委託費	1,500,000	1,350,000